

健康経営宣言

株式会社トラストシップは、健康経営に取り組むことを「宣言」し、社員一人ひとりの多様性が尊重され、安心して働き続けられる職場づくりをめざします。

株式会社トラストシップは、理念「CO・OPともにはぐくむ くらしと未来」およびビジョン2035『食べるしあわせ、自分らしいくらし「ともに」の力で、笑顔の明日を』を掲げ、私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創る事をめざしています。

また、SDGS5つの重点目標である「人にやさしく誇りが持てる組織」の達成をめざして、「健康経営」を推進することを宣言し、ウエルビーイング（社員一人ひとりの個性や能力に応じていきいきと活躍できるしあわせな状態）を実感できる職場づくりに取り組みます。

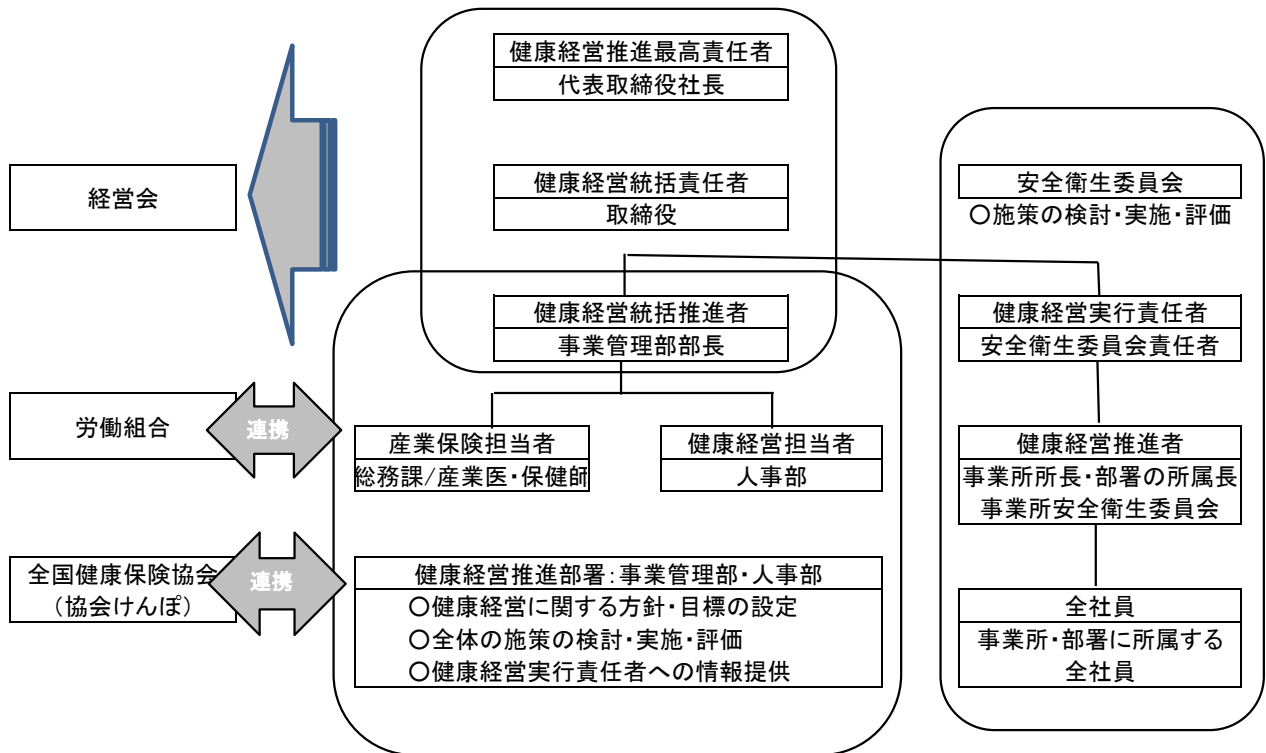
株式会社トラストシップ
代表取締役社長 土居 信昌

メッセージ

私たち株式会社トラストシップは、信頼と敬意にもとづく率直なコミュニケーションを大切にし、それぞれの立場や多様な意見を尊重しあい、夢と誇りをもち続けられる事を社員モットーとして取り組んでいます。今回「健康経営」を宣言し、今まで以上に社員が健康でいきいきと活躍できる組織を皆で作りにいきましょう。



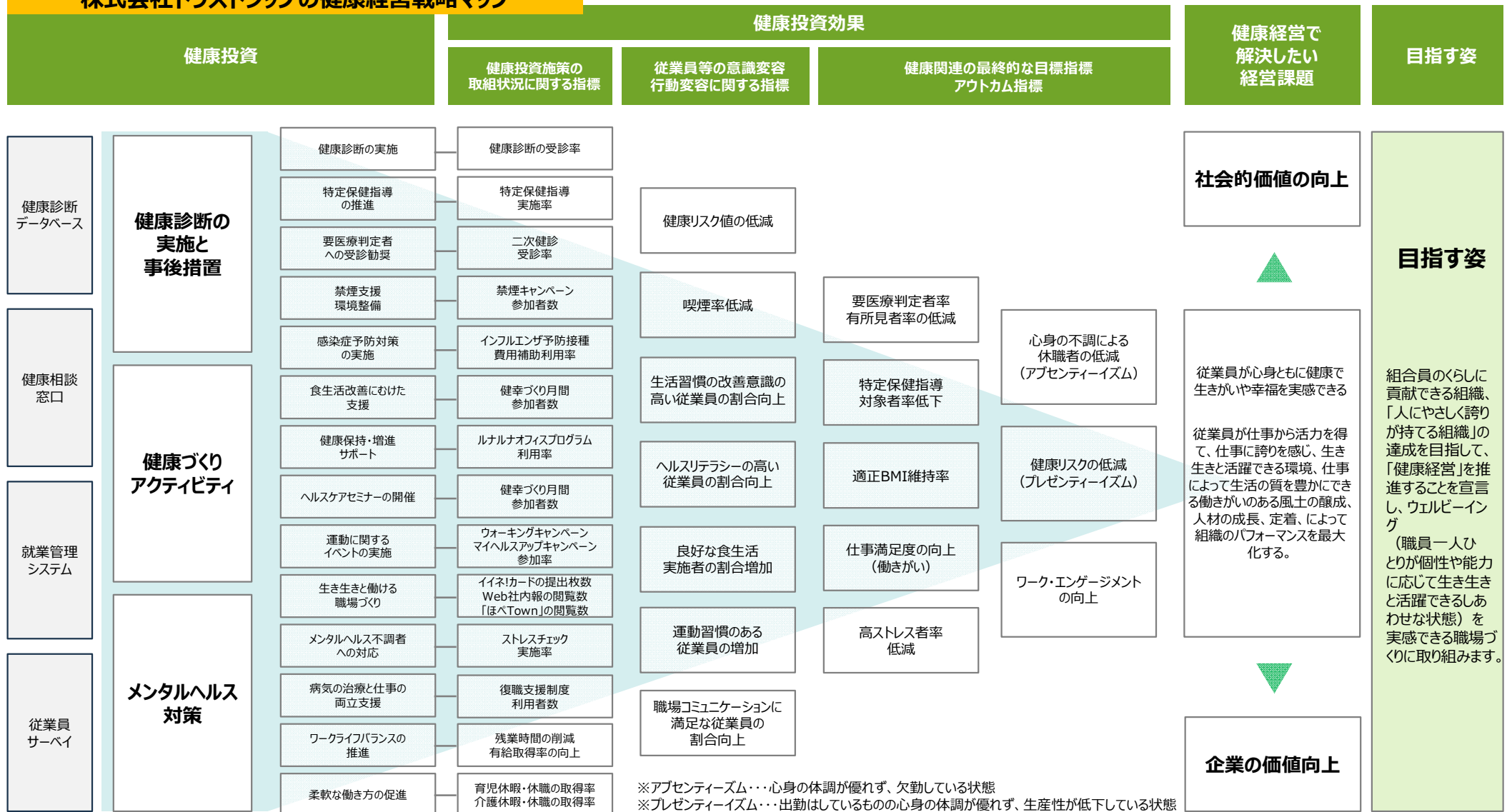
「トラストシップ 健康経営推進体制図」



「健康経営推進体制と役割」

体制	役割
「健康経営推進最高責任者」 (代表取締役社長)	健康経営の考え方や思いを全社員や家族、外部に訴えることで健康経営の理念の浸透を図ります。
「健康経営統括責任者」 (取締役)	健康経営の推進状況の点検、確認を行ないます。
「健康経営統括推進者」 (事業管理部部長)	健康経営推進部所(事業管理部・人事教育部)の「健康経営担当者」(人事教育部)と「産業保険担当者」(総務課/産業医・保健師)で健康経営施策の運営と健康増進を図ります。加えて、安全衛生委員会を通じて、健康増進、ヘルスリテラシー向上のための施策を展開します。
「健康経営実行責任者」 (安全衛生委員会責任者)	施策の検討・実施・評価を行ない、職員の健康経営への参画意識を高める役割を担います。
「健康経営推進者」 (事業所所長・部署の所属長)	事業所労働安全衛生委員会のメンバー、事業所の社員とともに、取り組みを推進します。
「全社員」 (事業所・部署に所属する全社員)	社員の一人ひとりが、自ら健康増進、ヘルスリテラシー向上に関心を持ち取り組みます。

株式会社トラストシップの健康経営戦略マップ^①



目指す姿

組合員のくらしに貢献できる組織、「人にやさしく誇りが持てる組織」の達成を目指して、「健康経営」を推進することを宣言し、ウェルビーイング（職員一人ひとりが個性や能力に応じて生き生きと活躍できるしあわせな状態）を実感できる職場づくりに取り組みます。